



125th Anniversary for Future

2024年5月、実践女子学園創立125周年を迎えました

第四回実践女子大学国文学科特別講演会

声なき声を掬い上げる —— 李琴峰の小説世界

写真：稲垣純也

李琴峰（り・ことみ）

1989年生まれ。小説家。2017年、第二言語の日本語による小説『独り舞』で群像新人文学賞を受賞し、作家デビュー。2021年に『ポラリスが降り注ぐ夜』で芸術選奨新人賞、『彼岸花が咲く島』で芥川賞受賞。主な作品に『星月夜』（集英社）、『生を祝う』（朝日新聞出版）、『言霊の幸う国で』（筑摩書房）、エッセイ集『シドニーの虹に誘われて』（集英社）など。

講演要旨

デビュー以来、LGBTQ+ など性的少数者をはじめ、様々なマイノリティの物語を丹念に描いてきた作家・李琴峰。なぜマイノリティを描くのか、どのような点に留意して描いているのか。芥川賞受賞作『彼岸花が咲く島』や芸術選奨新人賞受賞作『ポラリスが降り注ぐ夜』、そして近刊『言霊の幸う国で』『シドニーの虹に誘われて』などを中心にお話しいたします。

11/30

土

実践女子大学 渋谷キャンパス
15時～ 804号室

参加無料、事前登録不要。問い合わせ：jissen.kokubun.tokubetsu@gmail.com